

経済建設委員会

■ 中心市街地の活性化について

富良野市は、にぎわいの創出による商業活性化推進とまちなか居住の推進の二つの方針を基本に駅前地区土地区画整理事業・市街地再開発事業を行い、現基本計画ではフラノ・マルシェ開発事業は現在、東4条街区再開発事業により、今後は「旧くにい」跡地利用を目指したサンライズパーク開発事業を行いまちなか回遊を目指す方針です。



開発が期待される東4条周辺

委員会では、富良野市が持つ優位性を生かして、魅力的で利便性に富み、田舎でありながら

都会的魅力を合わせ持つ快適空間「ルーバン・フラノ」構想を基本に、中心市街地に求められる機能と役割、市民全体が将来にわたり安全安心なまちづくりを見据えた市街地再開発がどのように進めるべきか方向性と課題について以下の5点として整理をしました。

① 事業推進に当たっての情報公開の徹底② 中心市街地の空き地・空き家への対応③ 商店街の再編とコミュニティ機能の維持④ 高齢化社会に対応した交通体系のあり方⑤ 市民と観光客が集えるまちなか拠点の創出

今日まで富良野中心市街地は、時間の経過とともにその姿や機能を変化し現在に至っており、今後人口減少や高齢化など来る要因の中で持続可能性を見出しながら地域経済の発展、文化、医療、観光、防災など様々な視点から市民の利便性を追求し、高齢者にも若者にも移住者にも便利で暮らしやすい安心なまちづくりが重要です。その核となるのが中心市街地であり、先を見据えたまちづくり推進を求め委員会報告とします。

議会運営委員会

■ 議会運営について

△ 神奈川県開成町▽

開成町議会では平成22年1月から通年議会の導入と、同4月から議会基本条例を施行し議会の活性化に取り組んでいる。



開成町議会視察風景

通年議会の利点として、① 1回招集すれば議長の判断で必要に応じ本会議を開催できる。② 委員会の閉会中の継続審査手続きが不要になり、いつでも委員会が開催でき、議会が主導的・機動的に機能を十分に発揮できる。③ 緊急性を要して、議会を招集する時間的余裕がない理由

での専決処分がなくなる。以上の3点が挙げられている。

また、議会基本条例の施行では、議員の自己研さんと資質の向上、公正性と透明性の確保等について独自の議会運営ルールを策定し、町民と歩む協働型議会をめざしている。

△ 埼玉県所沢市▽

所沢市議会では、これまで積み重ねてきた改革の取り組みを確かなものとするため、平成21年3月から議会基本条例を施行しており、議会及び議員の責務を自覚し市民の負託に応えられる議会を目指してきている。

特徴的な内容としては、議会のパブリックコメント手続き、閉会中の文書による市長等に対する質問、議会審議における論点情報の形成、自由討議、政策討論会、専門的識見の活用、付属機関の設置、見直し手続が挙げられている。議会基本条例は議会の最高規範として、議員が交代しても改革のため積み上げてきた実践を風化させないよう文章化することであり、更なる議会運営の機能強化の必要性を実感したところである。